

ChatGPT 等生成 AI 活用検討プロジェクトチーム

ChatGPT 活用研修（結果概要）

【日 時】 令和5年6月5日（月）9：30～11：30

【場 所】 2号館2階 参与員室

【参加者】 PTメンバー（22名）+ 各部総務課若手職員（16名）

【講 師】 ㈱エクサウィザーズ 取締役 大植 択真 氏（PTアドバイザー）

1 目標等

<目標>

- ・ 庁内におけるChatGPT等生成AIの活用をリードする人材の育成

<研修の狙い>

- ①ChatGPT等生成AIの基礎知識の習得
- ②ChatGPTの特性とプロンプトエンジニアリングの基礎の習得
- ③新規施策の検討でChatGPTを用いることを想定したプロンプトの習得

2 研修概要

講義

ChatGPT等生成AIの概要やプロンプトエンジニアリングの基礎について学習

- ・ 生成AIの進化
- ・ AIのビジネス利用の現状
- ・ 生成AIがもたらすインパクト
- ・ ChatGPT活用のポイント、プロンプトエンジニアリングの重要性
- ・ 生成AIの利用上の注意点

実習

参加者全員が「exaBase生成AI」を用いて各自の業務で使えそうなプロンプトを実行

<発表者のプロンプト例>

- ・ 「ゆるキャラ」のアイデア創出
県内市町の概要一覧の作成を指示し、その情報を元に市町の「ゆるキャラ」を考案
クリエイティブな使い方はChatGPTの有効な活用例
- ・ 県予算記者発表資料の要約
URLをプロンプトに組み込み、URL先の記載内容を要約
数字や計算に弱いため、生成した数字については注意が必要
- ・ 法改正に対応する施策のアイデア出し
最初少し違っても、人格設定や質問を重ねてチューニングすることで精度が向上
GPT-3.5の方が速度は早いですが、最後に精度を上げたいときはGPT-4の方が的確
- ・ 国交省が出している1,000ページ以上の要領のPDFの内容を質問
PDFをURLで指定し、知りたいことを教えてくれるか検証
URLによるPDF参照は現時点では精度低い。テキストのコピー＆ペーストの方が
精度は向上（読み込み量に課題）

（以上）

研修風景(1)



研修風景（2）



研修風景 (3)

